

# 大安寺報

## 死を想う

### 東日本大震災犠牲者

#### 一周忌に寄せて

東日本大震災から、一年が経過しました。三月十一日を中心に、日本各地で追悼行事が執り行われ、無念の中亡くなられた方々の安穩・冥福を祈る人々であふれました。まだまだ被災地の復興は端緒についたばかり。福島での原発事故は、「収束宣言」という言葉のみが宙に浮く中、先の見えない将来に不安を抱える方々の苦悩は続いております。同じ東北に生きる者として、息の長い支援をあらためて誓いたいものです。

さて、今回の震災における二万名もの犠牲を前に、私たちは何を学べば良いでしょうか。それはやはり、「一瞬一瞬を大切に、一生懸命に生きる」ことの大切さをあらためて噛みしめることではないでしょうか。ともすれば、自らの命が有限であることを忘れてしまいがちな私たちにとって、とりわけ近親者の「死」は、自らの死に想いをいたし、より善く生きることにより目覚める契機となります。全ての亡き人たちは、私たちに大切なメッセージを残してくれているのです。「死を想え、善く生きろ」と。

三月十五日は月遅れの「涅槃会」です。「涅槃」とは、お釈迦さまの「入滅」(お亡くなりになること)のことを言い、また、煩惱が滅した状態を意味します。お釈迦さまは、入滅に際し、弟子たちにこう言い残されています。

全ての事象は過ぎ去るものである。忘ることなく修行を完成させなさい。



涅槃会に続き、春彼岸が巡ってきます。お釈迦さまをはじめ、震災の犠牲者、皆さんの大切な方々に手を合わせた折りには、今一度、死とは何か、亡き方々が示してくれた「善く生き方」とは如何なるものだったのかを考えてみませんか？そして、この一度きりの人生を、おこたりにくく全うすることを誓う機会とする。それが何より、私たち残された者の務めであると考えます。

合掌

### 当寺の最新情報はこちらをご覧ください

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



<http://www.facebook.com/daijanji>

※ご覧いただく場合は、facebook アカウントが必要です。



携帯サイト QR コード

## 仏事

### Q & A

第十一回

Q. 何故、塔婆を建てるのでしょうか？

A. 塔婆は、卒塔婆の略で、お釈迦さまがお亡くなりになった際、そのご遺骨の上に築かれた塚(ストウパ)に由来します。塔婆は亡き方に対する供養の心を表すものとされます。

当寺の塔婆の上部(経曰の下)には、経典の一節が続いて、御戒名、何回忌での供養なのが記されます。

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)